



KAWASE HASUI

旅と郷愁の風景

川瀬巴水

2025.6.28 SAT — 9.7 SUN

開館時間：午前10時～午後6時、金曜日のみ午後8時まで（入館はいずれも閉館30分前まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）

*会期中の休館日：6月30日・7月7日・14日・22日・28日、8月4日・12日・18日・25日、9月1日

観覧料：一般600(500)円・大高校生300(250)円

*（ ）内は、20名以上の団体割引料金

*インターネット割引券ご提示で2名様まで団体割引料金でご覧いただけます。

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名は無料。
受付で手帳もしくは障害者手帳アプリ「ミライロID」をご提示ください。

*65歳以上の方、中学生以下は無料。

受付で身分証明書（マイナンバーカード、運転免許証、保険証、学生証等）をご提示ください。

主催・会場：高崎市タワー美術館

〒370-0841 群馬県高崎市栄町3-23 TEL 027-330-3773 / FAX 027-321-7277

特別協力：渡邊木版美術画舗 資料提供：大田区立郷土博物館 企画協力：ステップ・イースト

高崎市タワー美術館
TAKASAKI TOWER MUSEUM OF ART



左：《馬込の月》（部分）東京二十景 1930（昭和5）年
右：《芝増上寺》（部分）東京二十景 1925（大正14）年
※版元・渡邊木版美術画舗蔵



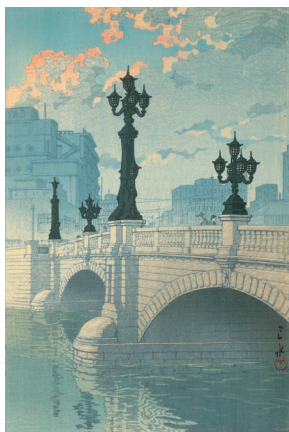
川瀬巴水

KAWASE HASUI

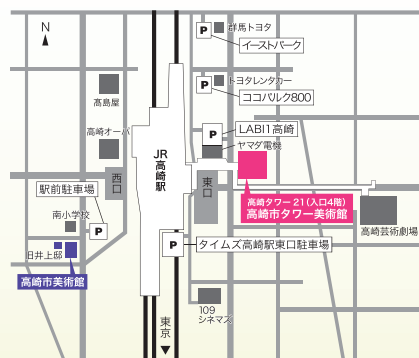
旅と郷愁の風景

大正から昭和にかけて活躍した木版画家・川瀬巴水（1883―1957〔明治16―昭和32〕年）。近代化の波が押し寄せ、街や風景がめまぐるしく変貌していく時代に、巴水は日本の原風景を求めて全国を旅し、庶民の生活が息づく四季折々の風景を描きました。巴水とともに木版画制作の道を歩んだのが、新時代の木版画「新版画」を推進した版元の渡邊庄三郎（現・渡邊木版美術画舗初代）や彫師、摺師といった職人たちです。四者は一体となって協業し、伝統技術を継承しながらもより高度な技術の活用を求めました。そして新たな色彩や表現に挑み続け、「新版画」を牽引する存在として人気を博します。

本展では、季節や天候、時の移ろいを豊かに表現し「旅情詩人」とも呼ばれた川瀬巴水の画家としての生涯を、初期から晩年までの代表的な作品とともに紹介します。まとめて観る機会の少ない連作（シリーズ）も含め約180点を展示し、叙情的な巴水の世界へと誘います。



- 1《吾妻峡》1943(昭和18)年
 - 2《日本橋(夜明)》東海道風景選集 1940(昭和15)年
 - 3《平泉金色堂》1957(昭和32)年
 - 4《西伊豆木負》1937(昭和12)年6月
 - 5《金剛山三仙巖》朝鮮八景 1939(昭和14)年8月
 - 6《前橋敷島河原》1942(昭和17)年
 - 7《木場の夕暮》東京十二題 1920(大正9)年秋
- ※すべて版元・渡邊木版美術画舗蔵



関連事業

〈版元によるギャラリートーク〉

展示室内で作品を観ながら、川瀬巴水の魅力と「新版画」についてお話しいたします。

講師 | 渡邊章一郎・渡邊木版美術画舗代表取締役
日時 | 7月20日(日)午後1時30分～(60分程度)
参加費 | 無料(要観覧料) 申込 | 不要

〈学芸員による作品解説会〉

日時 | 6月28日(土)、7月30日(水)、8月9日(土)・
8月24日(日)、9月6日(土) 午後2時～
7月11日(金) 午後6時～
参加費 | 無料(要観覧料) 申込 | 不要

高崎市美術館展覧会のお知らせ

「光のラビリンス」
2025年7月12日(土)～9月21日(日)
お問合せ | 高崎市美術館 TEL 027-324-6125

交通案内：JR高崎駅東口より徒歩2分
駐車場：上記5カ所の駐車場をご利用ください。美術館受付で駐車券を提示等していただく、1時間の無料駐車券をお渡しいたします。



高崎市タワー美術館
TAKASAKI TOWER MUSEUM OF ART
群馬県高崎市栄町3-23 TEL 027-330-3773